

聖カタリナ大学大学院 看護学研究科修士論文評価要項

I 修士論文 審査基準

研究の意義	1. 看護実践の質の向上において研究としての意義（新規性・独自性）があるか。
	2. 問題提起に学術的意味があるか。
研究方法と内容	3. 研究課題に関連する国内外の先行研究を検討し、研究課題が導かれているか。
	4. 研究課題、研究の背景、意義、目的が明確に示されているか。
	5. 研究目的に適した研究方法であるか。
	6. 研究結果には必要なデータが示されているか。
	7. 研究結果をもとに適切な考察がされているか。
	8. 研究結果には学術的な価値があり、社会への貢献が期待できるか。
	9. 今後の課題が明確になっているか。
	10. 論文としての形式が整っており、論旨に一貫性があるか。
	11. 自立して研究活動を行う能力と学識が論文中に示されているか。
	12. 研究対象者等の権利擁護ができているか。
倫理的配慮	13. 著作権を守る配慮ができているか。

II 修士論文評価要領

修士論文は1月上旬に原本1部と審査員用3部を提出する。提出された修士論文を主査、副査が精読し、最終試験を1月末に実施する修士論文発表会の口頭試問により行う。最終試験終了後、主査・副査は、修士論文審査基準に則って審査し、審査基準に達していると判断した場合は、主査が審査結果報告書を作成し大学院研究科委員会に提出する。大学院研究科委員会は、提出された審査報告書に基づき最終試験の結果に合わせて、単位修得状況等修了要件を審議し学位授与の可否を決定する。